

# 9/18 (水) ~ 大根の種植え ~

父田の菅王里をしてくださっている山本さんに大根を育てる上でのお世話の仕方や種まき、土のかぶせ方等を教えてもらいました。山本さんの説明が「おは～聞いてね～」と声を掛けると「見えて～い」と自分たち何をしているか見える場所、そして山本さんの声も聞こえる場所へと動いていましたよ！「わがやまに～と尋ねられると「は～い」と元気な声。

- ①まがりのペットボトルで穴を開ける
- ②4方に種を4粒置く
- ③優しく土をかけ、手のひらで「パッパッパッ」とたたく
- ④もみがらをかけてあげる!



さっさとやかかります。

最初は1人4粒ずつの種を手の平にのせ、ペットボトルの穴を探し、①～④の流れを互いに聞いて、1人1人ずつの種植えを行いました。要領が段々と角が取れてくると、種をまく係、土をかぶせる係、もみがらをまく係と分れて行いだし、子どもたちの連携のすごさに関心しました。プラッリーの苗も植え、生長を楽しんでいる子どもたちでしたよ。



- このあはに  
「～ねました？」
- 「～はまがりのせ、  
こっちはあつたよ！」
- ちよと、もみがらをま、  
くるから、「(「しよが」わが)  
たよはがらうに  
おといてくれる？」
- あつた!!  
まもつとわ!
- はやく  
「～た～いよ～だ」